



学校だより

たかくだより

スローガン

『たくましく生きる高久の子』

那須町立高久小学校

令和3年5月10日発行

文責：伊藤 いつみ



学力アップ月間 保護者の皆様の願いは・・・

5月も立夏を過ぎ、子どもたちは徐々に新学年のリズムに慣れ、落ち着いて学校生活を送っています。今月は、「学力アップ月間」です。月末に控えた、4・5年生の「とちぎっ子学習状況調査」6年生の「全国学力・学習状況調査」に向けて、学校全体で学力アップに取り組んでいます。月・水の朝は、職員打合せを中止し、読み聞かせの日以外は、学習の時間として、職員室の教員も、子どもたちの学習のサポートをしています。子どもたちが登校しての多くの時間は授業です。その時間が苦痛になってはいけません。高久小の子どもたち全員が、勉強が分かって嬉しい、授業が楽しい、学校に行くのが楽しみと思える学校にしていきたいと思っています。

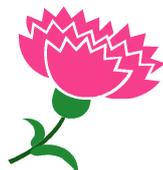
さて、4月に学級目標を子どもたちが決める際に、保護者の方々の願いも取り入れるということでアンケートに御回答いただきました。全学年のアンケートを拝見させていただき、集計して本校の学校教育目標に照らし合わせたところ、次のような願いのキーワードが多数となりました。

高久小の学校教育目標 「こんな子どもに育て欲しい」アンケート

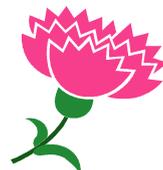
たかの人を思いやる子・・・優しい、思いやり、感謝
くんがえて勉強する子・・・チャレンジ（挑戦）、自分で考えて行動、考えを伝える
じけずにがんばる子・・・明るく元気、あきらめずに一生懸命頑張る

授業参観の全体会でもお話しさせていただきましたが、今年度は、「自律・自立」を目標としています。保護者の皆様の願いからも、優しい心を持ち、勉強においても運動や生活においても、何事にもチャレンジしていく、自分の力でがんばる子どもの姿を求められていると感じました。

学校と御家庭との両輪で子どもたちの「自律・自立」を促していけるようよろしくお願い致します。



「自律・自立」に向け、学ぶ子どもたちの姿



【防災教育・避難訓練 4/19】



机の脚をつかんで頭を守ります

いときかもしれません。休み時間や清掃のときかもしれません。学校は、放送をきちんと聞いて、自分で判断をして正しい行動がとれる子どもを育てていくことが求められています。

御家庭でも、地震が起きたときの避難の仕方や避難場所をお子さんと一緒に確認しておくことをお勧めします。

今は、昔と違います。「地震が起きたら火を消す」のではなく、一番にすることは、

「自分の身を守る行動を取る！」ことです。

NAISU タイムの時間に、1年生から6年生まで、系統立てて地震についての学習を行いました。1～3年生は「防災学習ブック」を使い、地震について身の守り方を学びました。4～6年生も、ワークシートやビデオなどを使い、室内や屋内での身の守り方や、命を守る行動をいち早く取ることを学びました。

その後、緊急地震速報チャイムを用いて、地震が起きた際の避難の仕方を実際に訓練で体験しました。どの学年も静かに避難できましたが、今回の訓練での反省を次回に生かして、いつどんなときでも、どの場所においても自分の身を守る行動を落ち着いて取れるようにしていきたいです。

次は、先生と一緒に



4年生の学習の様子

《交通安全教室 4/20》



手を挙げ、声出し左右確認！

丸山駐在所畑巡査部長と、黒田原第二駐在所久保田警部補のお二人に、右側一列歩行と交差点の渡り方についての御指導をいただきました。

また3年生は、自転車を準備し、自転車の点検の仕方や自転車の乗り方、交差点での安全の確認の仕方など実技指導を受けました。

1年間、「交通事故0ゼロ」を目指していきましょう！子供用ヘルメットの準備等、保護者の皆様の御協力もお願いいたします。



3年生自転車教室

《那須町小学校野球大会 5/9》優勝おめでとう！

高久小学校野球部は那須高原小学校と対戦し、5-0で完封勝利！失点0の好成績で見事優勝し、



切磋琢磨しながら力を付けています

6月には、ソフト部の町の大会が控えています。少数精鋭のチームで臨みます。

那須地区大会への切符を手にしました。投球数70という制限があり、ピッチャーは6年生須藤咲太郎さんから渡辺桃衣さんに6回より継投となりましたが、二人とも落ち着いたピッチングで、好



ピンチにも動じないピッチング！

守備にも助けられ、相手打線を封じ込めました。打撃も好調で、よく声を出して楽しく試合をしていました。保護者会の皆様の支えがあつての優勝です。

『地域連携コーナー』【ありがとうございます】

4月20日、交通安全教室で横断歩道の渡り方の訓練をしていると、地域の方が声を掛けてくださいました。

御自分の健康のために、指先を使って、広告の紙でゴミ箱を折っていること、コロナ禍の心配もあり、今まで学校に持参することを迷い控えていたことなどをお話しくださいました。弓落の前社協会長、平山仁一様の奥様平山千代子様、段ボール3箱分のゴミ箱を寄贈くださいました。給食時に出る、ストローやお手ふきの片付けに大活躍するゴミ箱です。有り難く使わせていただいております。



こんなにたくさん感謝です！

高久の風

高久小の校歌は、創立から約50年後の1924年(大正13年)10月31日に制定されました。作詞・作曲「蓮実 長」とありますが、子どもたちには馴染みのない難しい言葉がたくさん出てきます。一番の歌詞に「明治の帝(みかど)畏(かしこ)くも 御野立(おのたち)ありし愛宕山」とありますので、歌詞の故由を調べてみたところ、那須町誌前編に『明治天皇が、明治42年11月6日に愛宕山の御野立場に行幸された』という旨の記述があり、これに由来しているものと分かります。愛宕山にも石碑が建っています。

また、三番には、「我は何おか那須の原 色々匂う八千草の 己(おの)が向き向き咲き出でて 世に美(うまし)実(み)を結びなん」とあり、那須の地高久で多くの友と学んでいる子どもたちが、それぞれにしっかりと成長し、将来立派な人になることを望むということがうたわれています。子育ての目的は「自立した大人に育てること」ですが、今も昔も親や教師の思いは同じですね。